JTAG キャリアデザインWG
学生インタビュー
調査速報

2022/11/1

Copyright © 2022 ISEPA. All Rights Reserved.

2022年活動方針

調査テーマ：学生視点のキャリア調査

調査テーマ決定の背景

学生が産業界、特にセキュリティ業界に期待することを調査することで、産業界が求める要素と学生が期待することのギャップ調査を行う。産業界と学生の目線を合わせることにより、学生の流入を促すきっかけを作る。

産業界が考える就職やキャリア　　学生が考える就職やキャリア

Copyright © 2022 ISEPA. All Rights Reserved.

調査及び分析手法

予備調査

時期：6,7月
時間：1時間程度
方法：学生へのインタビュー
対象者：以下用件に合う学生
・セキュリティを中心に学んでいる学生
アンケート内容：以下質問カテゴリ約３５問
(ア)対象者のプロファイル情報
(イ)就職・仕事に関する質問
(ウ)セキュリティの仕事に関する質問
(エ)セキュリティキャリアについての質問

アンケート調査

時期：～10月末
時間：5～10分程度
方法：Formsへの入力
対象者、アンケート内容：予備調査と同じ

発表方法

10月：速報公開予定
12月：レポート公開予定

データ

分析データ：9月20日時点
※速報は9月20日時点のデータをもとに集計をしています。

分析（速報）

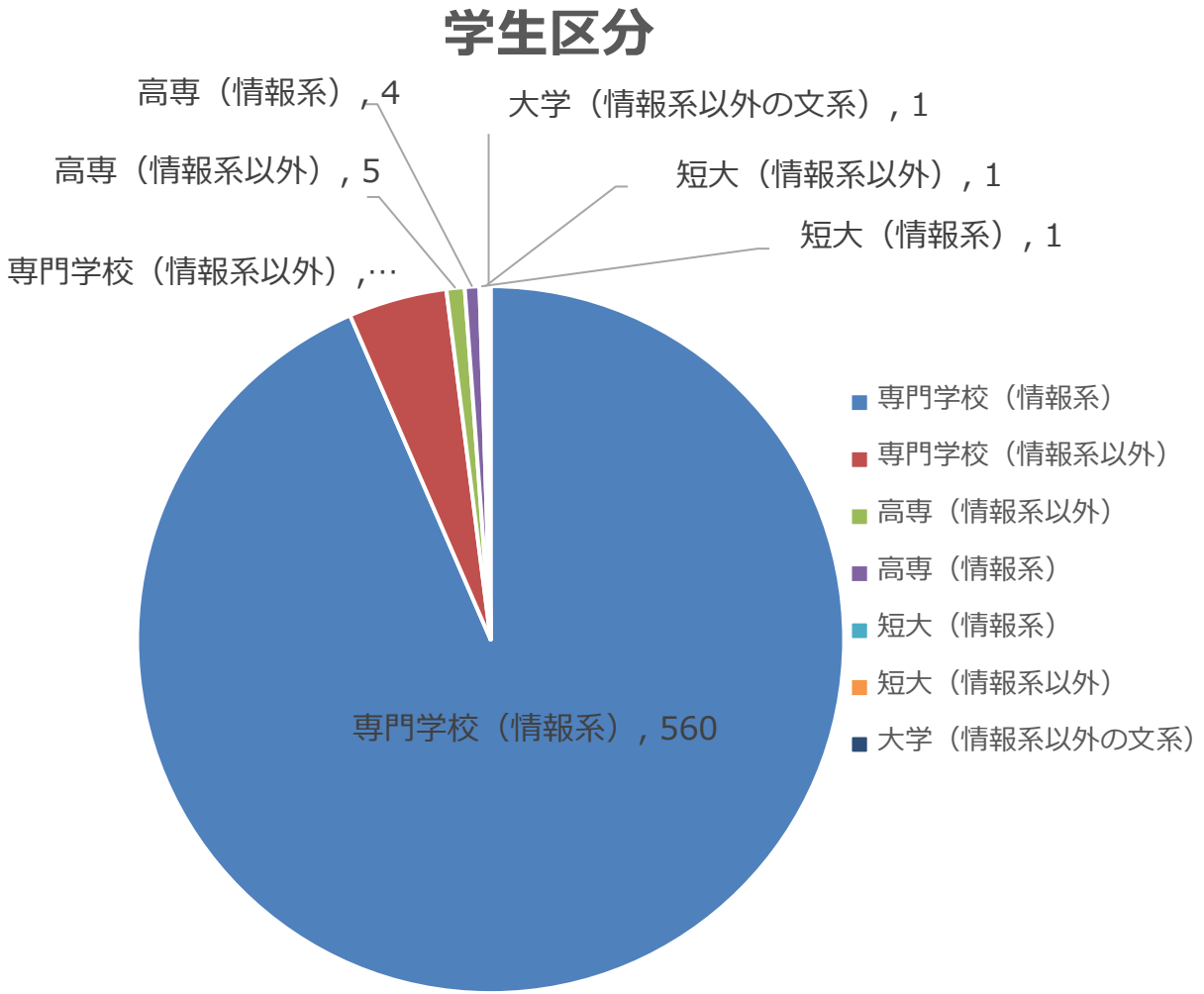
分析時期：9,10月
対象：アンケートの有効回答を抽出し実施
主な分析の切り口：以下を予定
(ア)学年ごと
速報では、高専の5年生を本書の2年生、4年生を1年生の扱いとして分析を行う。
主な分析手法
(ア)クロス集計
(イ)WG内ディスカッションによる考察

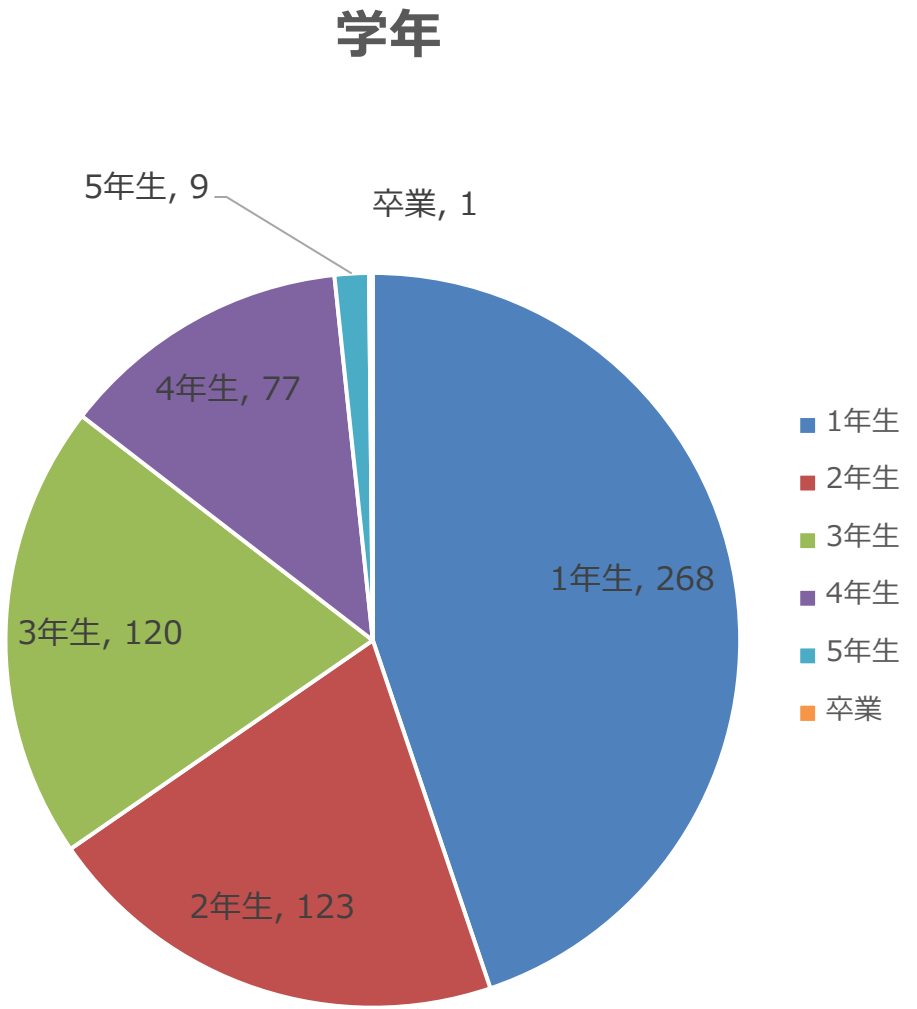
分析（レポート）

分析時期：9～12月
対象：アンケート及びインタビューの有効回答を抽出し実施
主な分析の切り口：以下を予定
(ア)学年ごと
(イ)学校区分ごと
(ウ)その他
主な分析手法（予定）：以下を予定
(ア)クロス集計
(イ)BIG5分析
(ウ)WG内ディスカッションによる考察
※分析手法は変更される可能性があります。

Copyright © 2022 ISEPA. All Rights Reserved.

回答者属性

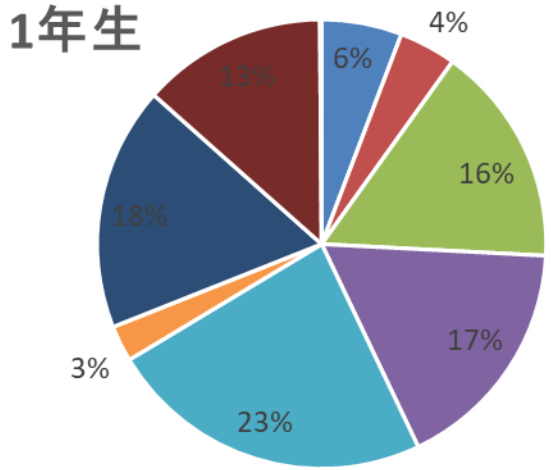


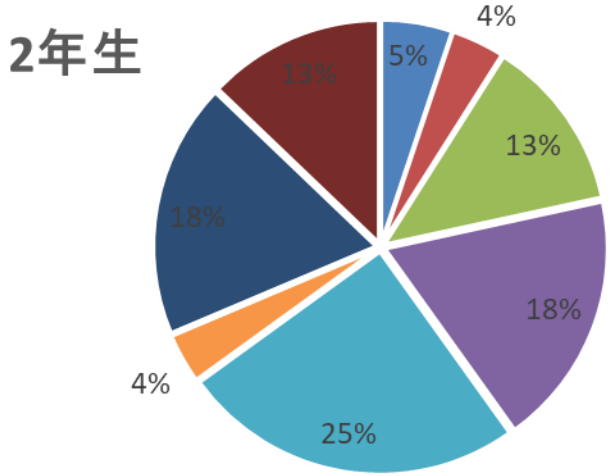


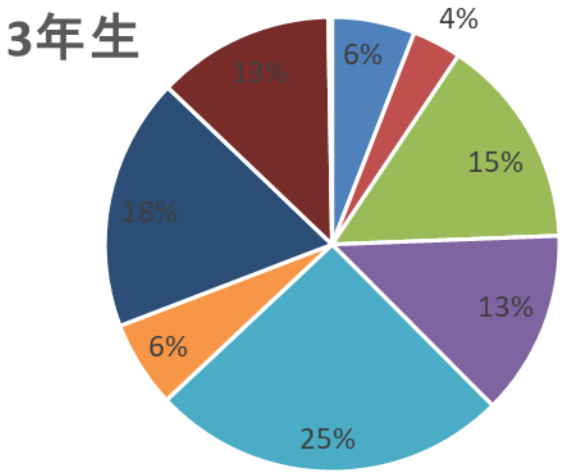
本グラフは回答者の入力通りでグラフを示しています。次スライド以降は、高専の5年生を本書の2年生、4年生を1年生の扱いとして計上し、グラフを作成しています。

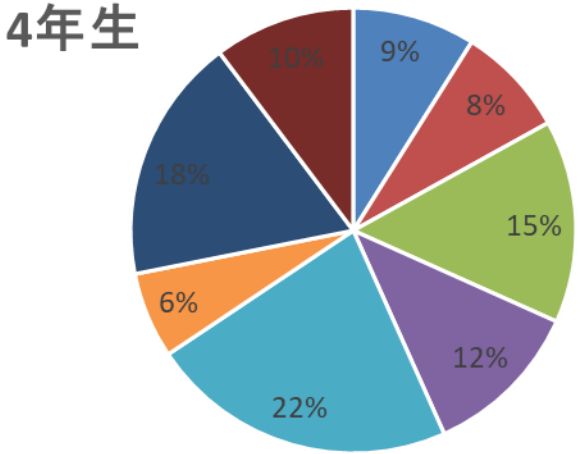
Copyright © 2022 ISEPA. All Rights Reserved.

質問：就職活動をする上で重要視していること、していたことは何ですか？







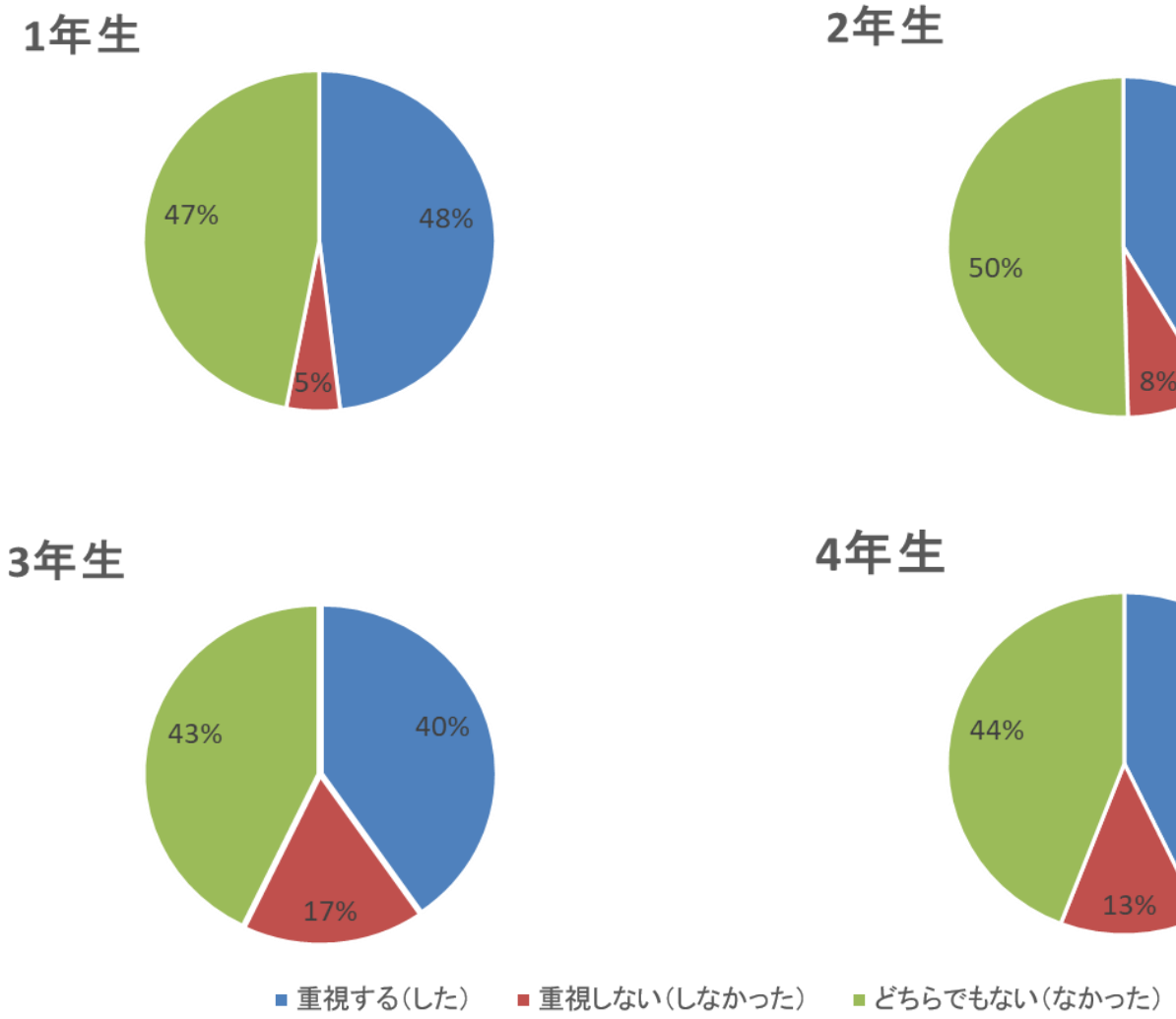


１～４年生で共通している点として、**やりがい、休み等のとりやすさ、給与**の３つが共通している。さらに、柔軟な働き方も１年生の時から重要視するという回答が多い。授業でのオンラインを経験するなど、テレワークに対する抵抗意識が減っており、むしろ希望していると考えられる。

４年生では、キャリアの可能性・キャリアの明確性が他学年より高まる結果となった。実際に就職に直面した際に、キャリアを強く意識することとなり、キャリアの可能性や明確性を重要視するという回答が増えたと考えられる。

Copyright © 2022 ISEPA. All Rights Reserved.

質問：デジタル化・DXを推進している企業を就職の時に重視しますか ？ または しましたか？



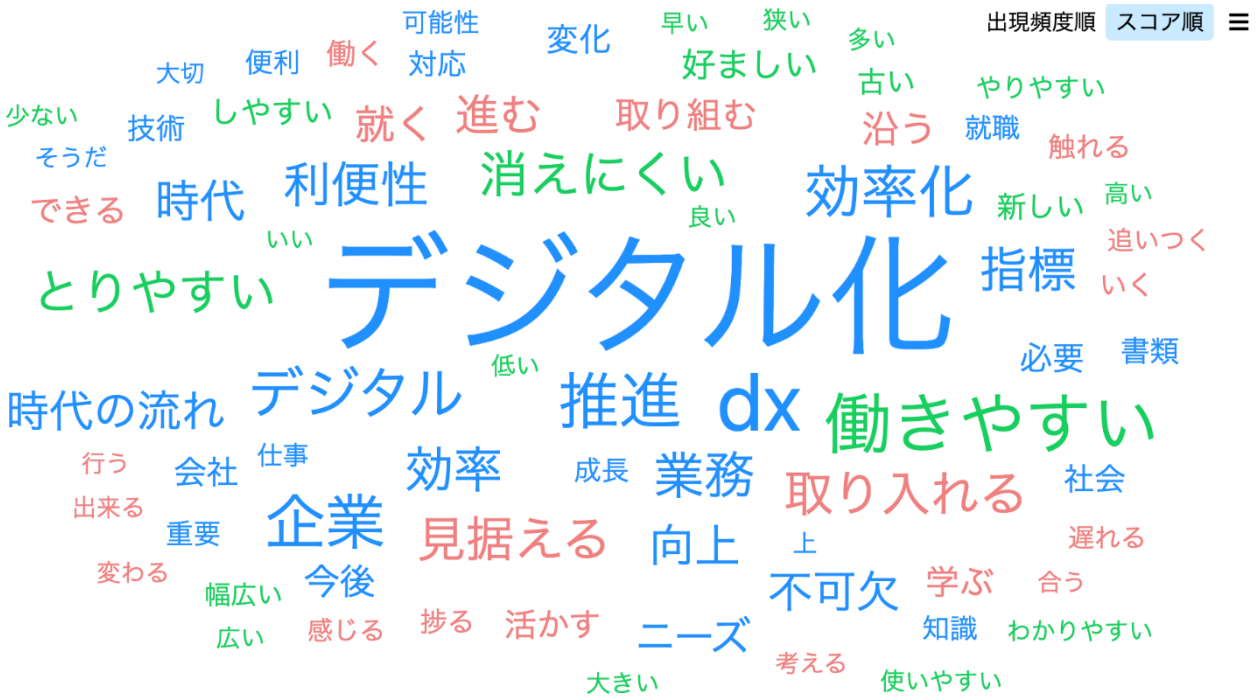
１年生から４年生にかけて重視する（した）という回答が減っていくという結果となった。反面、重視しないという結果は増える結果となっている。

これらの理由の考察においては、レポート本編でも考察を行なっていく予定である。

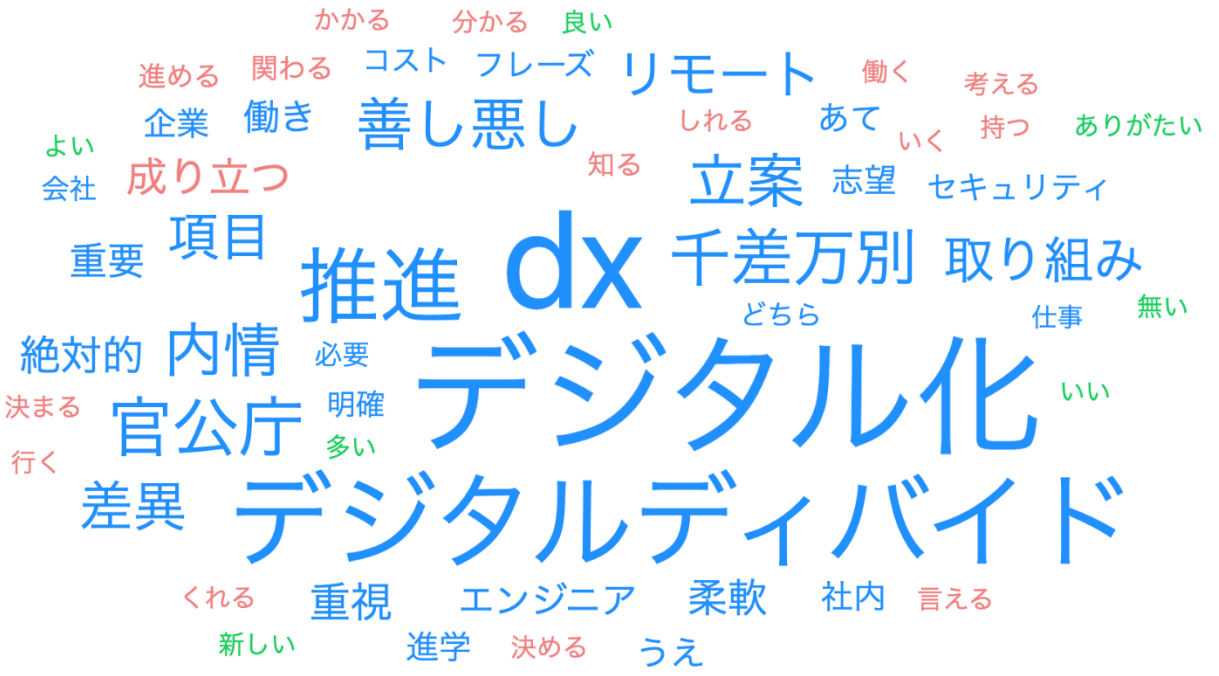
また、本質問ではフリー記述での回答も取得している。それらをテキストマイニングにて確認を行った。

Copyright © 2022 ISEPA. All Rights Reserved.

質問：デジタル化・DXを推進している企業を就職の時に重視しますか ？ または しましたか？　テキストマイニング結果



重視する（した）と回答した人のテキストマイニング結果



重視しない（しなかった）と回答した人のテキストマイニング結果

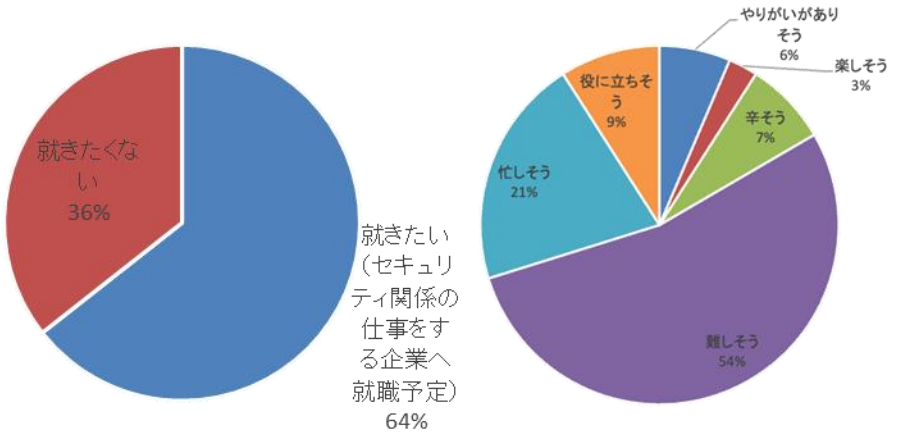
デジタル化・DXの推進を重視する（した）と答えた人の意見としては、**今後の成長や働きやすさに期待をする言葉**が多く見られた。反面重視しない（しなかった）と回答した人の意見としては、**各社による取り組みの精度を疑問視する声**や**推進しているかよりも効果を意識する意見**が見られた。

また、どちらでもないという回答については、わからない・知らない・関心がないといった意見が一番多かった。他にも、DXを推進していることが就職の決め手になったわけではないといった意見もあった。これらはレポート作成にあたり、分析を行なっていく。

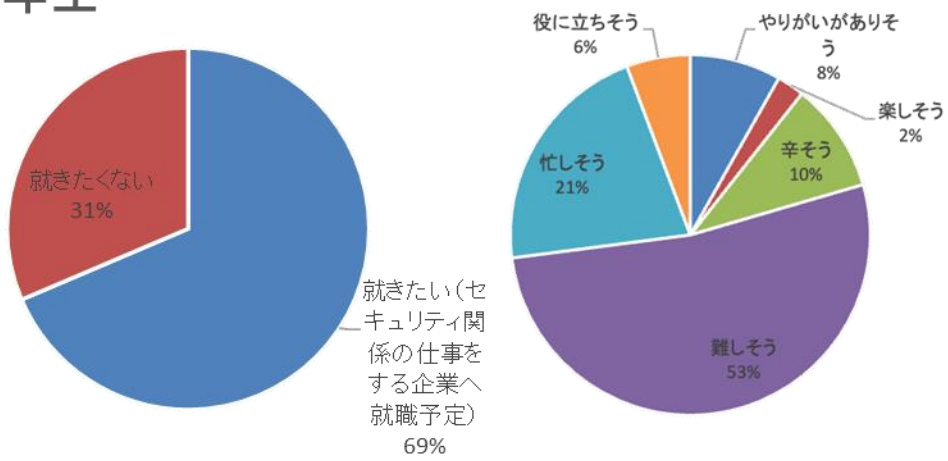
Copyright © 2022 ISEPA. All Rights Reserved.

質問：現在、セキュリティ関係の仕事に就きたいですか？
質問：『セキュリティの仕事』において、どのような感情が一番近しいですか？

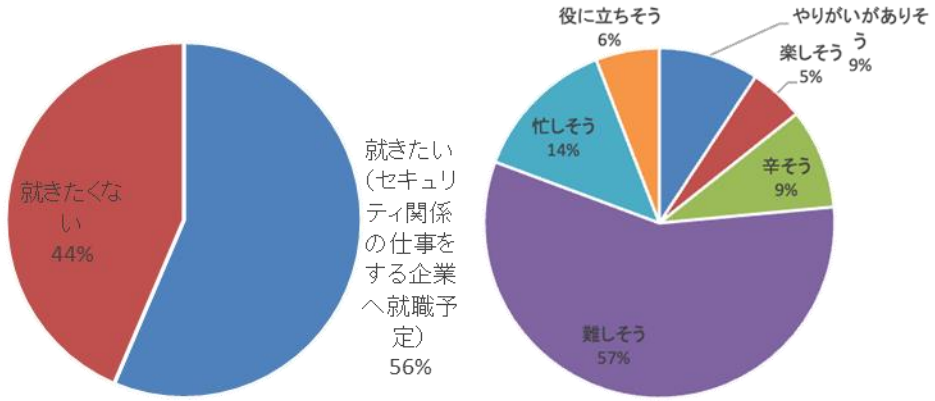
1年生



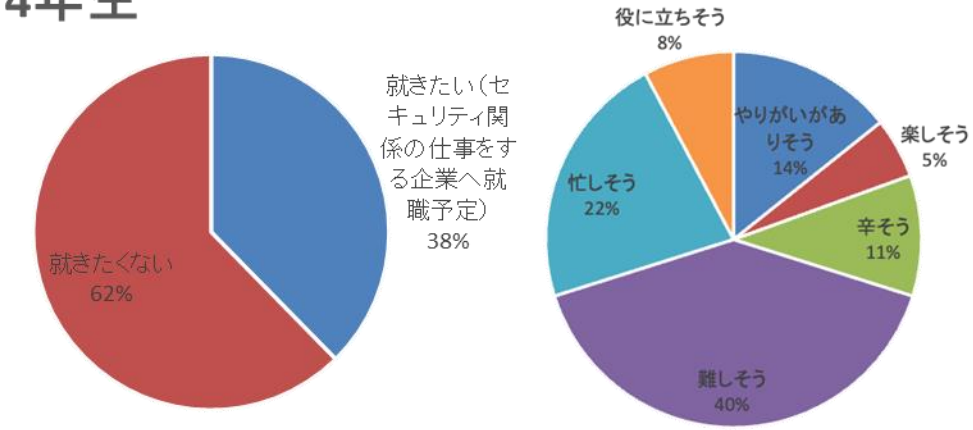
2年生



3年生



4年生

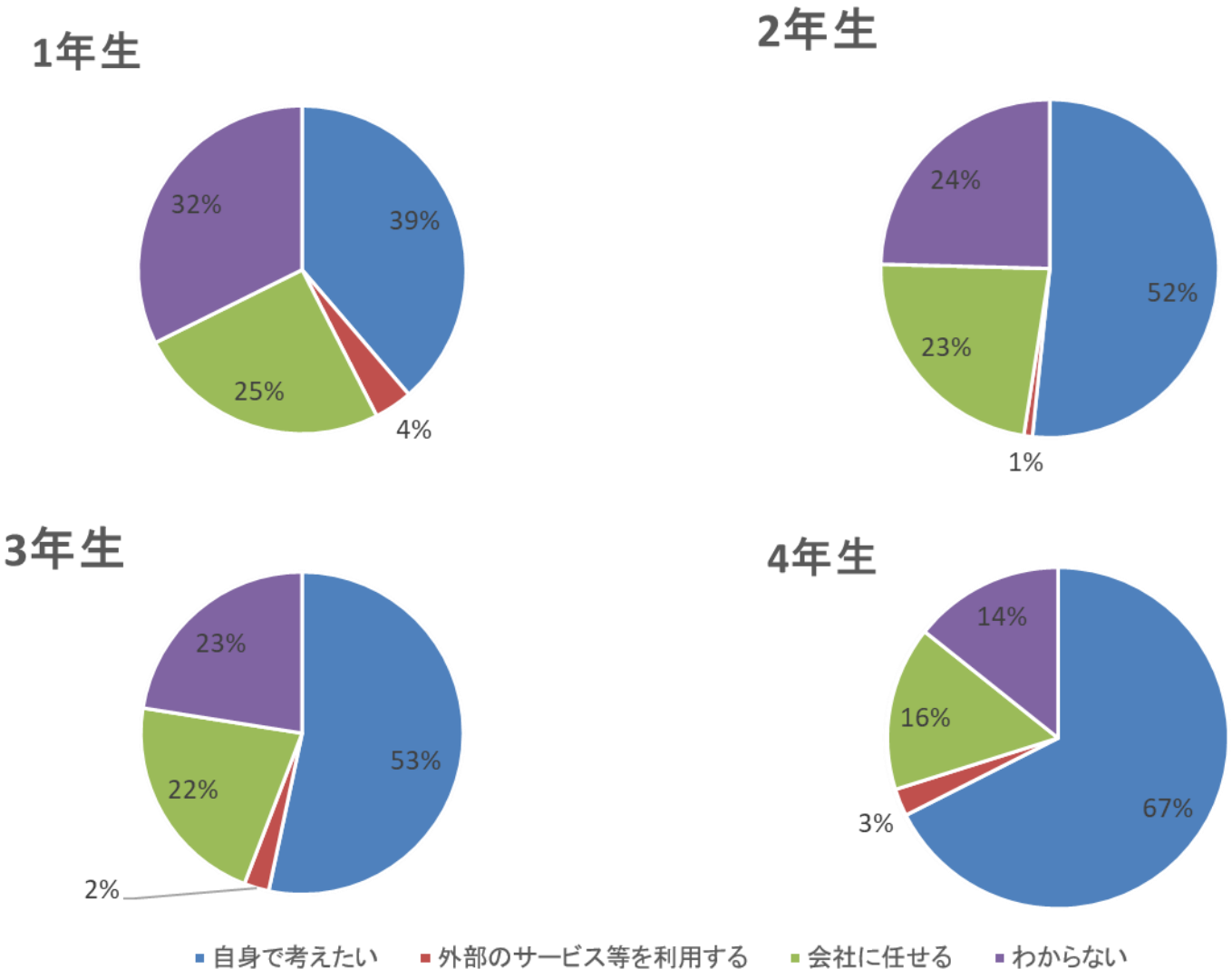


４年生になるとセキュリティ関係の仕事に就きたい（セキュリティ関係の仕事をする企業へ就職予定）が一気に減少し、過半数を割る結果となった。

しかしながら、「『セキュリティの仕事』において、どのような感情が一番近しいですか？」という質問では、「やりがいがありそう」が他学年に比べて高くなっている。就職活動をする上で重要視していることでもやりがいは上位に来ている中で、仕事には就きたくないという意見が増えるというのは、給与や働きやすや、休み等の取りやすさとの関係性を検討する必要がある。

Copyright © 2022 ISEPA. All Rights Reserved.

質問：自身の入社・就職後のキャリア（仕事）の展望・展開についてどのように考えますか？



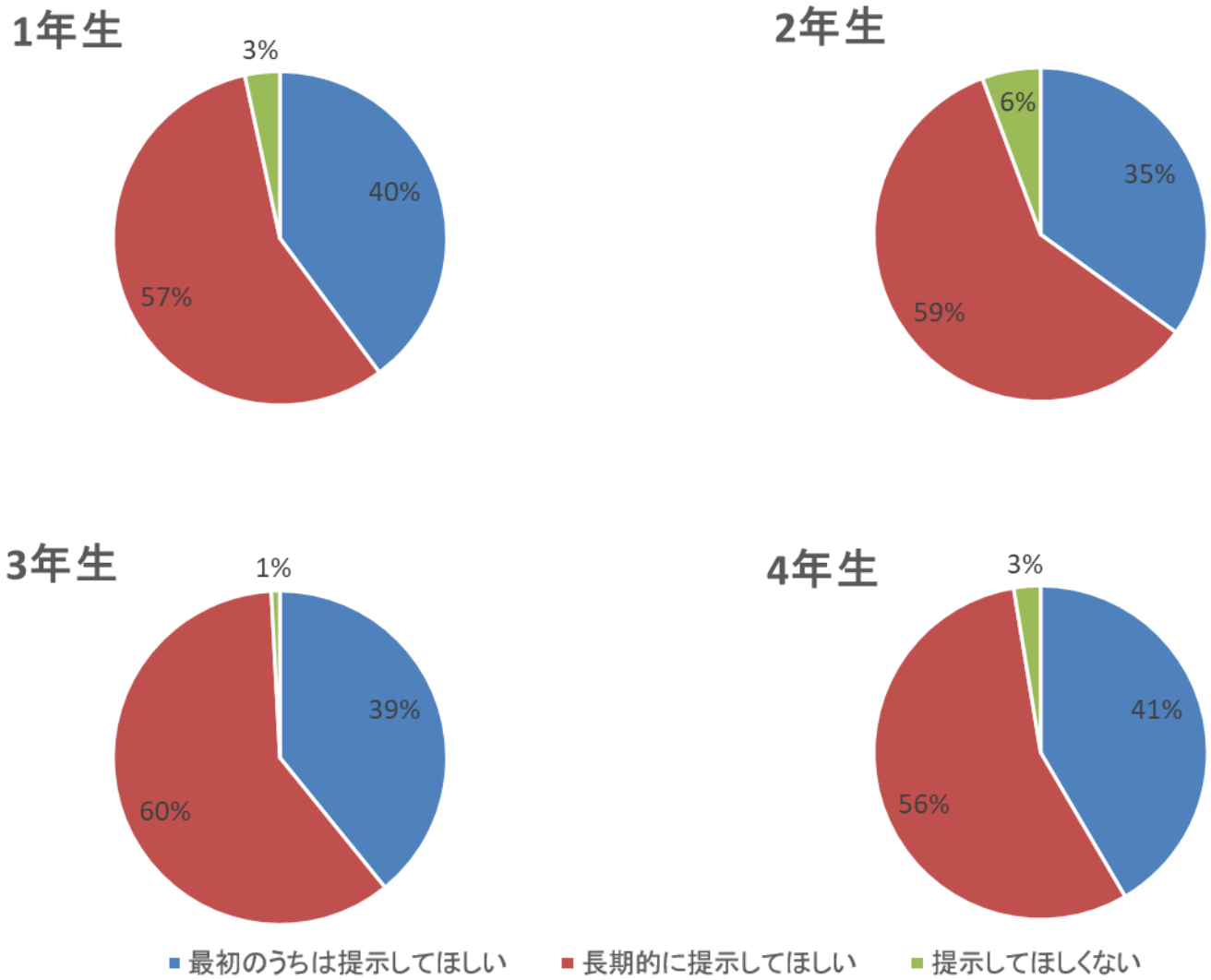
キャリア展望は学年が上がるごとに、自身で考えたいという結果が増えている。反面わからないという回答が減っていることから、学年が上がるについれてキャリアのあり方を考えるようになっている結果といえる。

この結果の理由のひとつとして、就職活動においてキャリアの重要性や実現可能なキャリアなどの説明を聞く機会が増えるといったことが考えられる。

外部サービス等の利用では各学年ともに低い結果となった。そもそも外部サービスというのがどのようなものがあるのかわからない、ということが一番の要因であると考えられる。

Copyright © 2022 ISEPA. All Rights Reserved.

質問：キャリアの可能性を会社から提示してほしいですか？



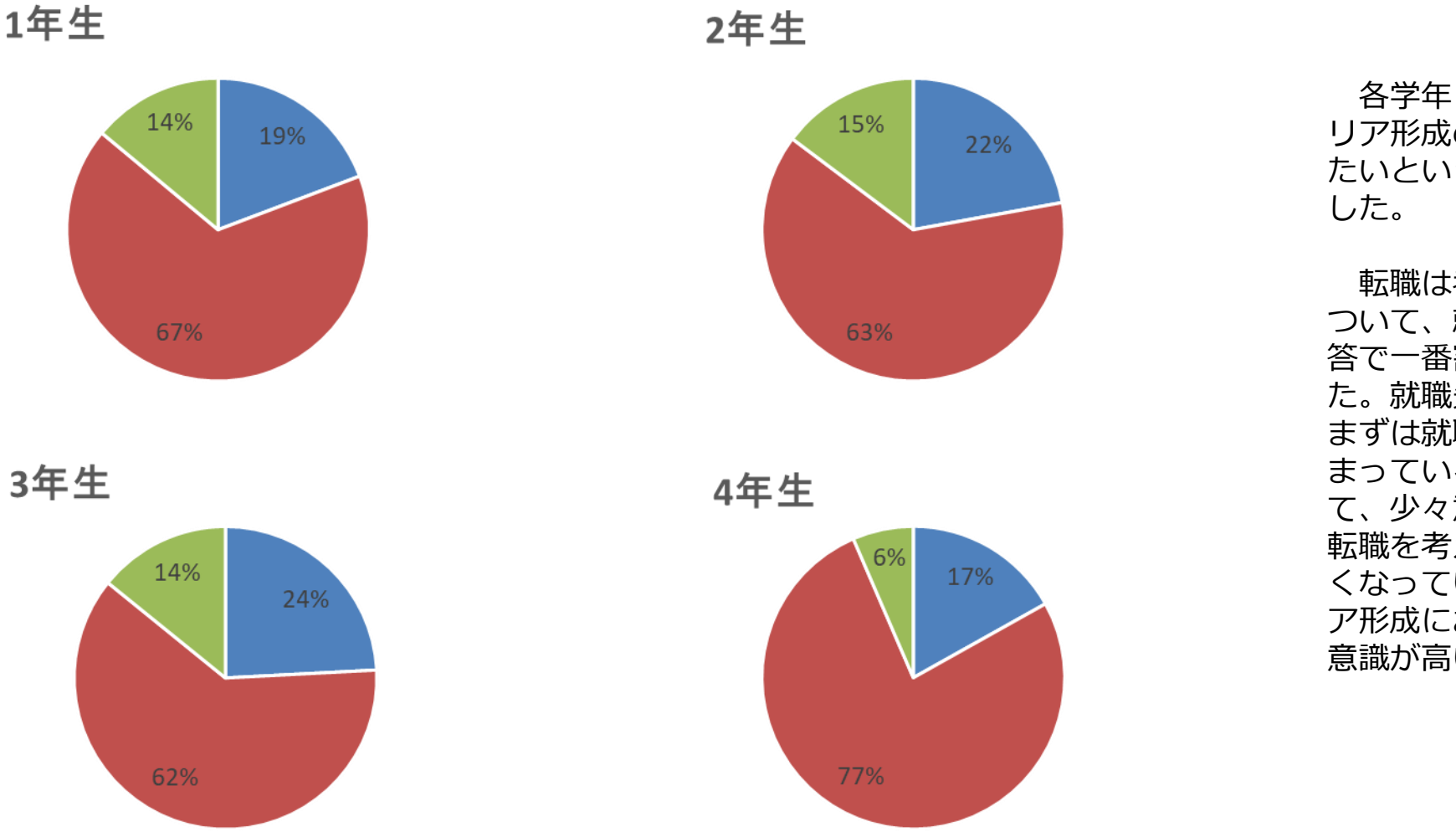
「自身の入社・就職後のキャリア（仕事）の展望・展開についてどのように考えますか？」の質問では、自分で考えたいが多かった。

「キャリアの可能性を会社から提示してほしいですか？」の質問では、提示して欲しくないという結果が少数だった。

会社からの提示はあっても、最終的には自己の判断のもとキャリアを考えたいという思いが窺える。また、最初のうちは提示して欲しいよりも、長期的に提示して欲しいという意見が多かった。

Copyright © 2022 ISEPA. All Rights Reserved.

質問：転職の可能性について最も近しい考えを教えてください。

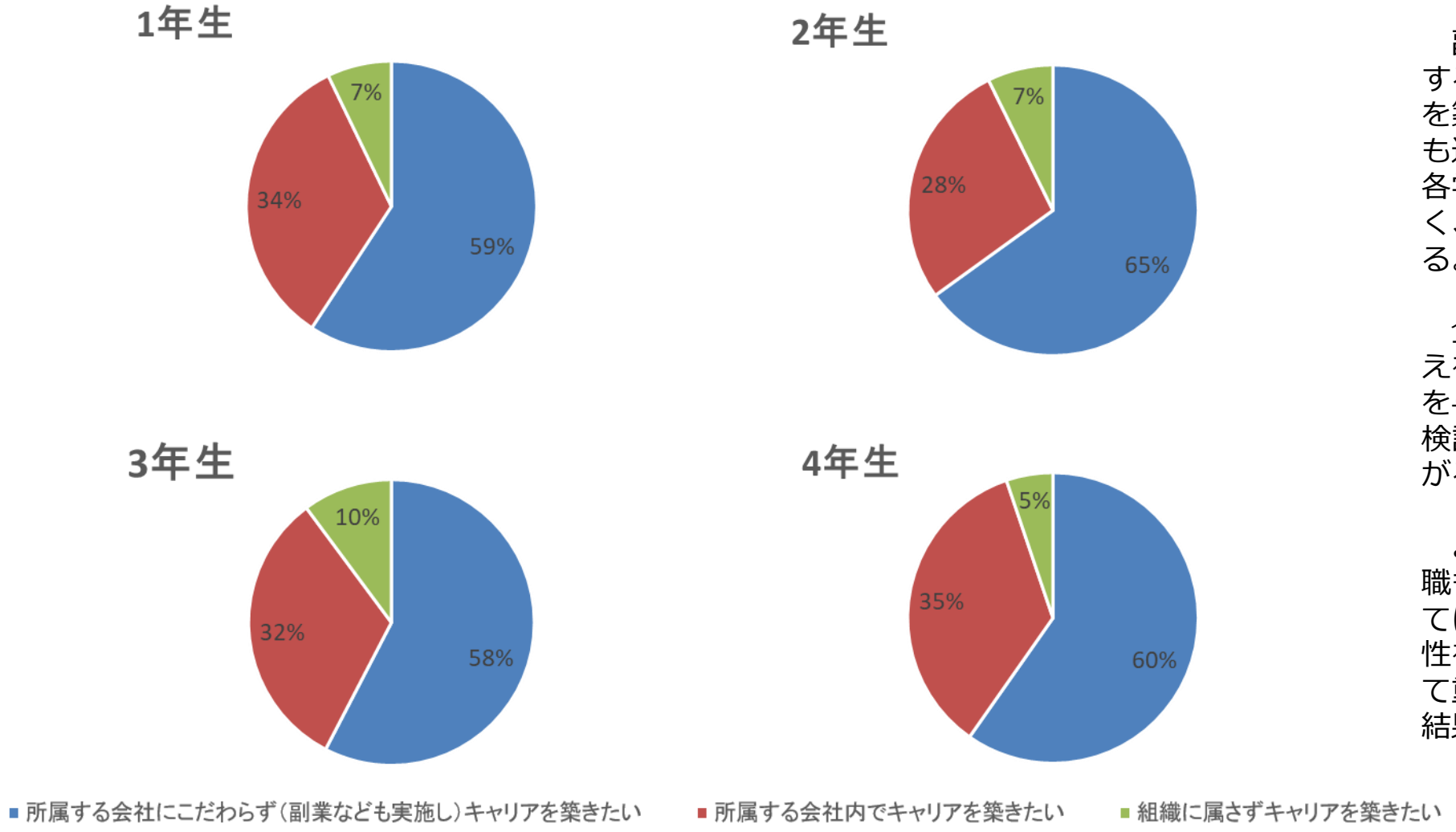


各学年ともに、より良いキャリア形成のためには転職も考えたいという回答が高い割合を示した。

転職は考えないという回答について、就職が決まる4年生の回答で一番割合が低い結果となった。就職先が決まったことで、まずは就職先で働く意識が高まっているであろう時期に対して、少々意外な結果ともいえる。転職を考えたいという意見も多くなっていることから、キャリア形成においては転職ありきの意識が高いことが伺える。

Copyright © 2022 ISEPA. All Rights Reserved.

質問：キャリアの築き方で近しい考え方を教えてください。



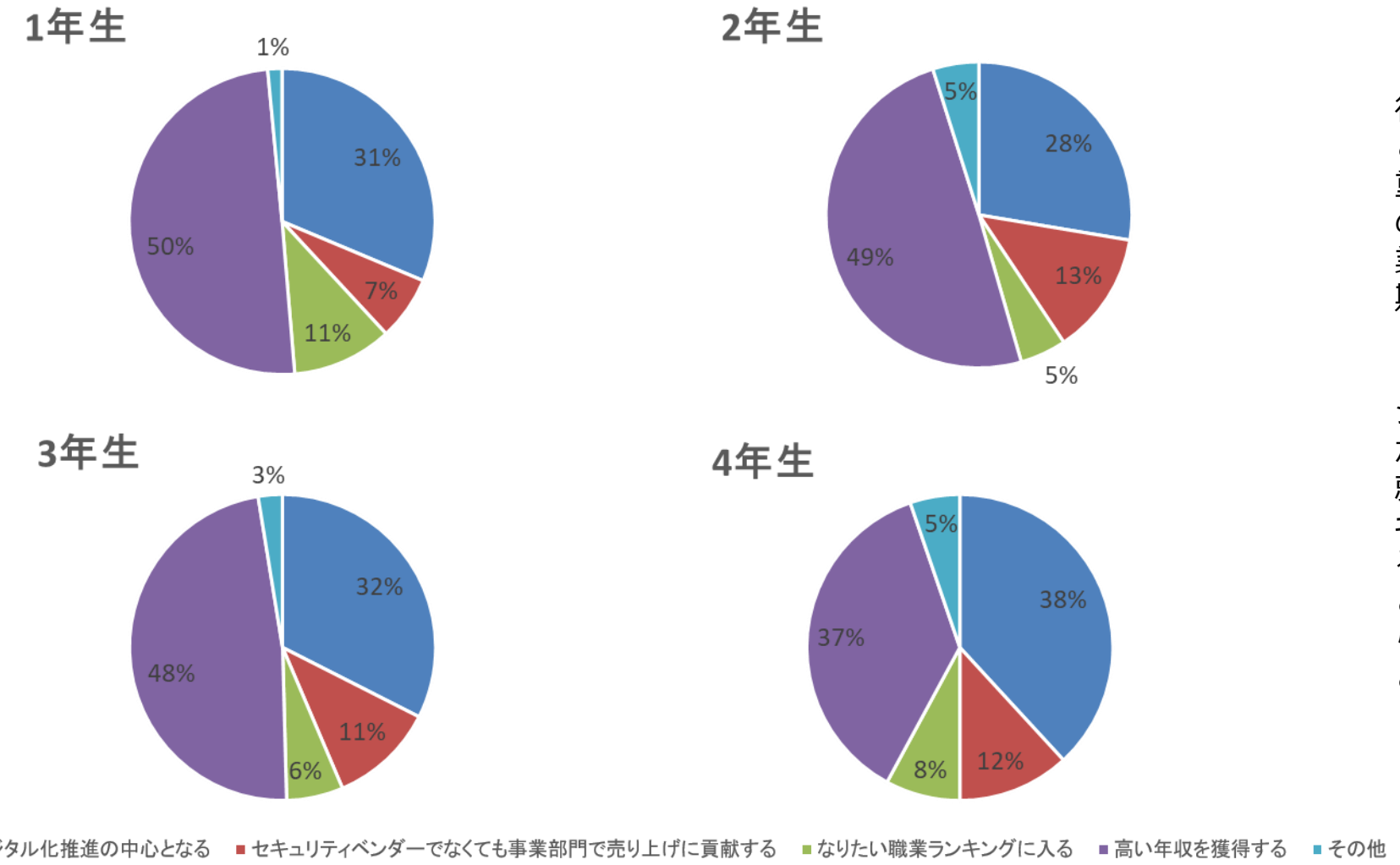
副業なども実施しながら、所属する企業にこだわらずにキャリアを築きたいという結果が各学年とも過半数を超える結果となった。各学年とも回答に大きな違いはなく、世代的な考えの結果とも言える。

企業としてはこれらの学生の考えを理解し、副業などのチャンスを与えつつ、キャリアのあり方を検討していくと企業の魅力につながるのではないだろうか？

より良いキャリアのためには転職も視野に入れている学生にとっては、キャリアアップ実現の可能性をいかに用意するかが企業として重要になってくると考えられる結果である。

Copyright © 2022 ISEPA. All Rights Reserved.

質問：セキュリティ関係の仕事に就く人たちは今後どうなればよいと思いますか？

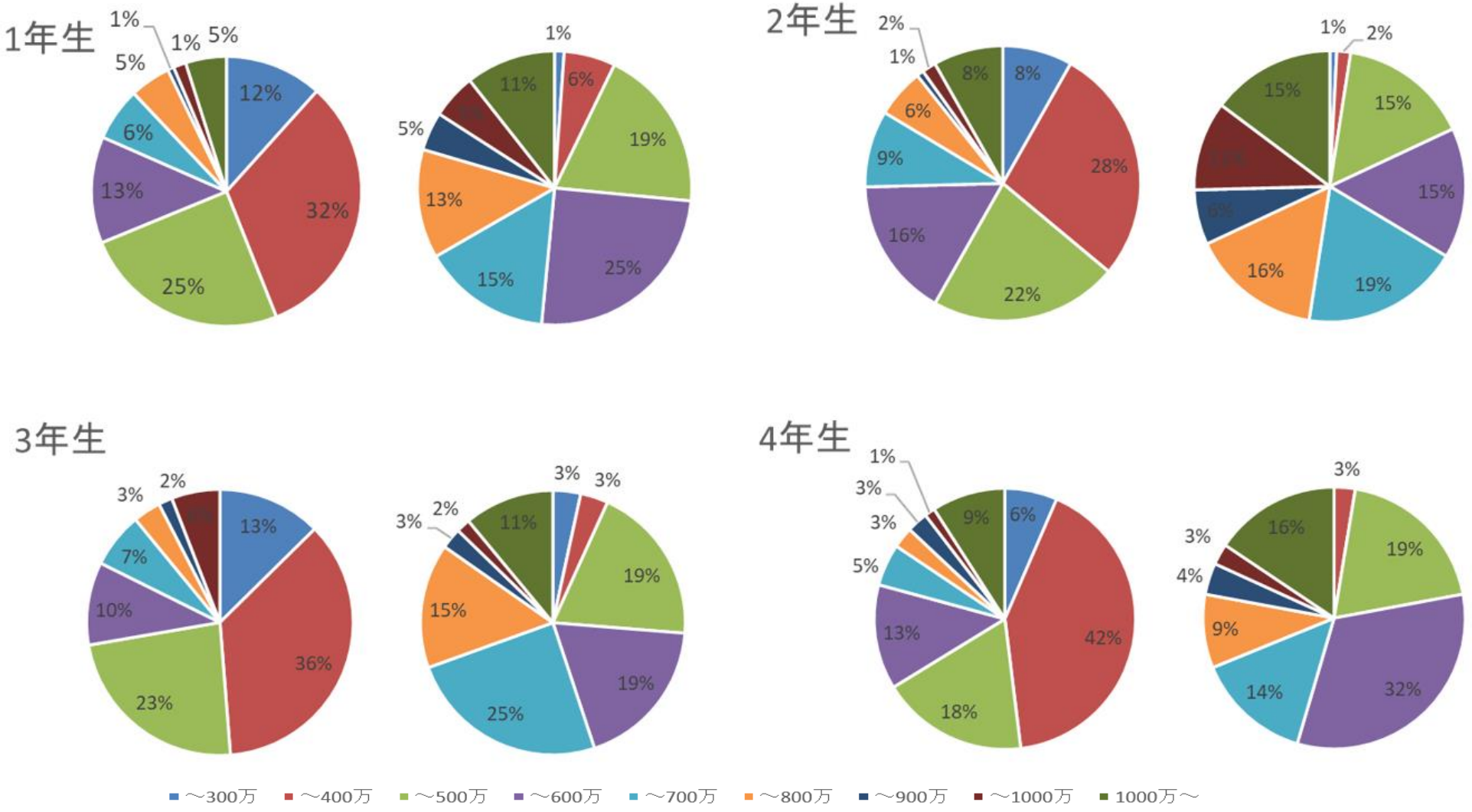


各学年ともに、高い年収を獲得すると答える割合が高い結果となった。就職活動をする上で重要視するものとしても、給与の割合が高かったこともあり、業務難易度を考慮された金額を期待する声であると考えられる。

4年生では、給与が減少し、デジタル化/DXの中心となるの割合が高くなったという特徴がある。就職活動をするにあたって、セキュリティ人材として求められること、期待されることが段々とわかってくる中で、今後求められること・期待されていることを意識した結果と考えられる。

Copyright © 2022 ISEPA. All Rights Reserved.

質問：セキュリティ業務についた際（入社時）にどの程度の年収があればうれしいですか？
質問： 30歳の時にどの程度の年収があればうれしいですか？



新入社員と30歳の時の希望年収を質問した。

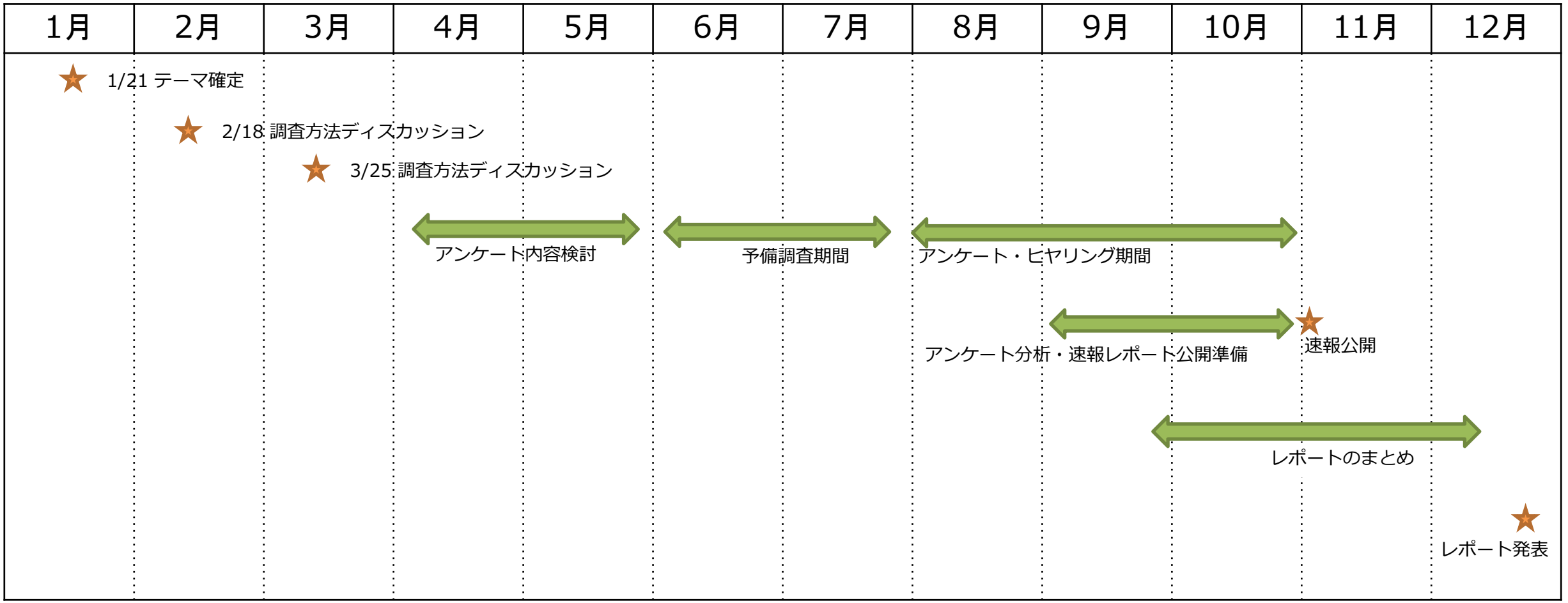
新入社員時では400～500万円が多い結果となった。業務難易度や勉強をした実績を加味した期待値と考えられる。

30歳になると、500～800を期待する結果となった。現在の日本の平均年収よりも高額を期待する意見である。

また、30歳の時に1000万以上を期待する意見も多い。セキュリティの仕事を学生の目線から見ると、1000万円を超える年収を期待したい仕事、または、それくらい貰わないと割に合わない仕事だと考えているのかもしれない。

Copyright © 2022 ISEPA. All Rights Reserved.

活動実績と今後の予定



Copyright © 2022 ISEPA. All Rights Reserved.

問い合わせ先

情報セキュリティ教育事業者連絡会（ ISEPA ）

JTAGキャリアデザインワーキンググループ
メールアドレス：isepa_cdwg@j-tag.or.jp

Copyright © 2022 ISEPA. All Rights Reserved.

Copyright © 2022 ISEPA. All Rights Reserved.